

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

SSK3
(703) 205-2000
0445-03002

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日 Date of Application: 2000年 5月30日

出願番号 Application Number: 特願2000-161019

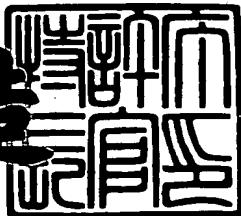
出願人
Applicant (s): 花王株式会社

05/02/01
09/84-3459
U.S. POSTAGE
POSTAGE

2001年 2月16日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3008828

【書類名】 特許願
 【整理番号】 P06757
 【提出日】 平成12年 5月30日
 【あて先】 特許庁長官殿
 【国際特許分類】 C11D 17/04
 B65D 5/54

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社 研究所内
 【氏名】 川口 裕次

【発明者】

【住所又は居所】 東京都墨田区文花2-1-3 花王株式会社 研究所内
 【氏名】 藤田 実智昭

【特許出願人】

【識別番号】 000000918
 【氏名又は名称】 花王株式会社

【代理人】

【識別番号】 100081385

【弁理士】

【氏名又は名称】 塩川 修治

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 016230
 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9107591

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 シート状洗剤容器

【特許請求の範囲】

【請求項1】 水溶性シートで個装されたシート状洗剤を積層して収容する容器であつて、

外箱の内面に沿うように挿入される印籠部を有し、該印籠部に閉じ状態の蓋の内面が被さり、外箱と印籠部と蓋を防湿性の材料で構成したシート状洗剤容器。

【請求項2】 前記蓋を外箱にヒンジ結合した請求項1記載のシート状洗剤容器。

【請求項3】 前記蓋のヒンジ結合部を、蓋の天面板と外箱の背面板との交差部の稜線に設けた請求項2記載のシート状洗剤容器。

【請求項4】 前記外箱の開口縁部に易切断部を介して蓋を結合してなる請求項1～3のいずれかに記載のシート状洗剤容器。

【請求項5】 前記印籠部に凹状切欠部を備える請求項1～4のいずれかに記載のシート状洗剤容器。

【請求項6】 前記印籠部に、開封後の再閉蓋時の蓋の縁を係止し得る蓋差込部を備える請求項1～5のいずれかに記載のシート状洗剤容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明はシート状洗剤容器に関する。

【0002】

【従来の技術】

特開平11-124600に記載の如く、コンパクトに個装され実使用において使用量を調整し易く簡便性に優れ、更には使用時に個装袋を切り開いて取出す手間がかからないように、水溶性シートで個装したシート状洗剤がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

シート状洗剤を積層して容器に収容した場合、水溶性シートが吸湿や水滴付着によって溶けて個装洗剤同士が貼り付き易い。

【0004】

本発明の課題は、容器の防湿性と水滴混入防止性を向上し、水溶性シートで個装されたシート状洗剤同士の貼り付きを防止することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】

請求項1に記載の発明は、水溶性シートで個装されたシート状洗剤を積層して収容する容器であって、外箱の内面に沿うように挿入される印籠部を有し、該印籠部に閉じ状態の蓋の内面が被さり、外箱と印籠部と蓋を防湿性の材料で構成するようにしたものである。

【0006】

【発明の実施の形態】

図1～図3のシート状洗剤容器10は、複数のシート状洗剤1を積層して収容する。シート状洗剤1は、例えば特開平11-124600に記載されるものであり、水溶性シート1Aで洗剤組成物を個装したものである。水溶性シート1Aとしては、水溶性フィルム、水溶性高分子纖維からなる不織布もしくは織布、又は水溶性フィルムと水溶性高分子纖維からなる不織布もしくは織布の積層シートが好ましい。洗剤組成物としては、例えばEO・PO付加型非イオン界面活性剤を含有する。

【0007】

洗剤容器10は、外箱21と蓋22とからなる容器本体20と、外箱21の内面に沿うように挿入される印籠部30と、外箱21と印籠部30の底部に敷かれる洗剤にじみ防止用底板（不図示）とを有し、シート状洗剤1を例えば30枚積層して収容する。

【0008】

容器本体20は、板紙（コートボール）の内面側に、防湿性の板紙、例えばポリエチレンフィルム、板紙（ライナー）を順に貼合せた素材20Aにて構成されている。そして、容器本体20は、有底直方体状の外箱21の開口縁部に易切断

部23を介して、有天直方体状の蓋22を結合している。蓋22は、容器本体20の正面下部の水平易切断部23A、容器本体20の左右側面の斜め易切断部23Bを介して外箱21に結合され、容器本体20の外箱21の背面板25と蓋22の天面板26との間の稜線に施したヒンジ結合部24を介してヒンジ結合されている。

【0009】

尚、容器本体20は、素材20Aの胴面形成部51の正面部と左右側面部に上述の易切断部23を設け、易切断部23とヒンジ結合部24より下の胴面形成部51と底面形成部52により外箱21を形成し、易切断部23より上の胴面形成部51と天面形成部53により蓋22を形成している。

【0010】

また、易切断部23は、上下のミシン目61、61に挟まれる帯状をなし、斜め易切断部23Bの各ミシン目61は、図2(B)に示す如く、素材20Aの表裏に渡るように貫通するY字状切れ目62を断続的に配列したものであり、切れ目62に長辺62Aを易切断部23の延在方向に、一方の短辺62Bを水平方向に、他方の短辺62Cを鉛直方向に配向し、これにより、相隣る一方の切れ目62の長辺62Aの端部と他方の切れ目62の短辺62B、62Cの端部とを水平方向と鉛直方向のそれぞれにおいてつなぐように素材20Aを切断可能とし、素材20Aに切断時の表層剥離を生ずることなく開蓋できるようにしている。素材20Aが紙からなることにより、易切断部23の切断性を良好にできる。尚、易切断部23は、帯状水平易切断部23Aの中央部に、上下のミシン目61、61に渡る切込線を設け、この切込線が切断開始部63である。

【0011】

但し、易切断部23は、帯状であることを必須とせず、また素材20Aの表裏の片方又は両方で薄肉にされた非貫通状の溝状半切線にて構成されるものであっても良い。

【0012】

印籠部30は、防湿性の板紙、例えば板紙(コートボール)の内面に、ポリプロピレンフィルムを貼合せた素材30Aにて構成されている。そして、印籠部3

0は、四角筒状の胴巻体31とその下端につながる孔開き底部（不図示）とからなり、外箱21の内面に沿うように挿入され、胴巻体31の上部の一部を外箱21の開口縁部から立上り、閉じ状態の蓋22の内面が被さって密嵌でき、その前面に凹状切欠部34を備える。本実施形態では、印籠部30は、その底部を外箱21の底部に突き当て、接着剤を介して外箱21の内面に接着されて固定化される。但し、印籠部30は、底部を備えることを必須とせず、又は孔なし底部を備えるものとしても良い。

【0013】

また、印籠部30は、開封後の再閉蓋時の蓋22の縁を係止し得る蓋差込部35を備える。本実施形態では、印籠部30の前面で凹状切欠部34を区画成形している縁に設けた両側2条の切込線35A、35Aに挟まれる舌片を蓋差込部35としている。

【0014】

洗剤容器10の使用手順は以下の如くなされる。容器本体20の易切断部23を切断し、蓋22を外箱21に対して開いて開封する。印籠部30の凹状切欠部34に臨むシート状洗剤1の外縁部をつまんで該シート状洗剤1を容器本体20から取出す。尚、シート状洗剤1は、水溶性シート1Aにより個装されているから、手を汚さずにそのまま洗濯機に投入して使用できる。

【0015】

従って、本実施形態によれば、以下の作用がある。

（請求項1に対応する作用）

①容器10の閉蓋時に、蓋22は外箱21の開口縁部から立上っている印籠部30に嵌合し、且つそれらの外箱21と印籠部30と蓋22が防湿性の材料で構成されているから、箱内への透湿と水滴浸入を遮断する。水溶性シートの吸湿や水滴付着による溶解を回避し、シート状洗剤1同士の貼り付きを防止できる。

【0016】

（請求項2に対応する作用）

②蓋22は外箱21にヒンジ結合されているから、蓋22を開封した手を離すと蓋22は直ちに自重で閉じる。これにより、蓋22が開き続けることによる水

滴浸入機会を減じ、シート状洗剤1同士の貼り付きを防止できる。

【0017】

(請求項3に対応する作用)

③蓋22のヒンジ結合部24が、蓋22の天面板26と外箱21の背面板25との交差部の稜線に設けられたから、蓋22を開けるとき、外箱21の背面板25と容器背面側の壁との間に隙間がないときにも、蓋22が壁にぶつかることがなく、容易に開蓋できる。

【0018】

(請求項4に対応する作用)

④蓋22は外箱21との間の易切断部23を切断するだけで開封完了でき、開封し易い。

【0019】

⑤易切断部23はミシン目、半切線等であってこのままでは透湿し易いが、易切断部23の内側に存在する印籠部30によりその透湿可能経路を遮断し、シート状洗剤1同士の貼り付きを防止できる。

【0020】

(請求項5に対応する作用)

⑥容器10は、外箱21及び印籠部30が形成する収容部にシート状洗剤1を収容したとき、外箱21の開口縁部から立上っている印籠部30に凹状切欠部34を備え、収容部を天面側だけでなく側方にも開口している。このため、収容部に上下に積層してあるシート状洗剤1の外縁部が凹状切欠部34に臨み、使用者はこのシート状洗剤1の外縁部を容易につまんで取り出しえる。

【0021】

(請求項6に対応する作用)

⑦再閉蓋時の蓋22の縁を印籠部30の蓋差込部35に係止できる。従って、蓋22の再封止の確実を図り、シート状洗剤1同士の貼り付きを防止できる。

【0022】

尚、容器本体と印籠部の構成素材において、プラスチックフィルムは、板紙の間にサンドイッチされ、又は板紙の内面もしくは外面に貼られるものであっても

良い。また、印籠部、底板は紙に限らず、プラスチック等からなるものであっても良い。

【0023】

【発明の効果】

以上のように本発明によれば、容器の防湿性と水滴混入防止性を向上し、水溶性シートで個装されたシート状洗剤同士の貼り付きを防止できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

図1は洗剤容器の開封状態を示す斜視図である。

【図2】

図2は洗剤容器の開封前状態を示す斜視図である。

【図3】

図3は洗剤容器の再閉蓋状態を示す斜視図である。

【図4】

図4はシート状洗剤を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 シート状洗剤

10 洗剤容器

21 外箱

22 蓋

23 易切断部

24 ヒンジ結合部

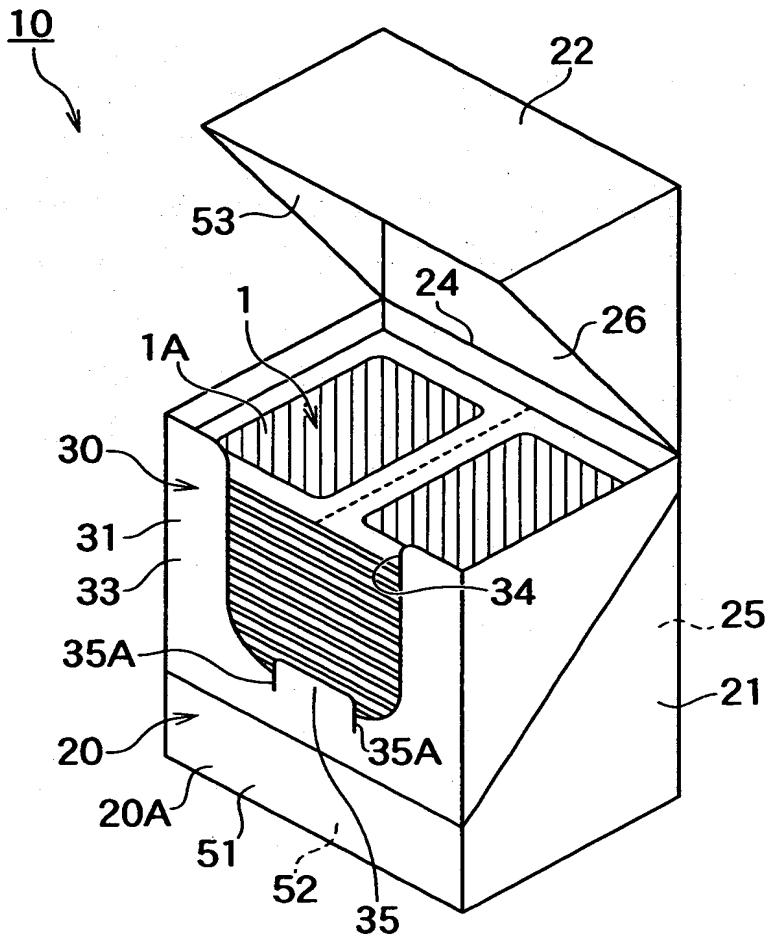
30 印籠部

34 凹状切欠部

35 蓋差込部

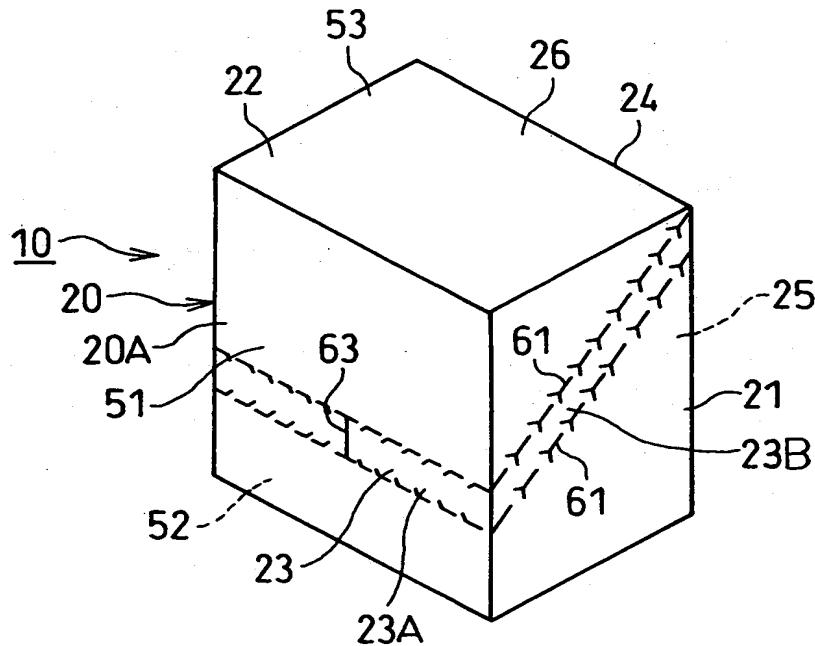
【書類名】 図面

【図1】

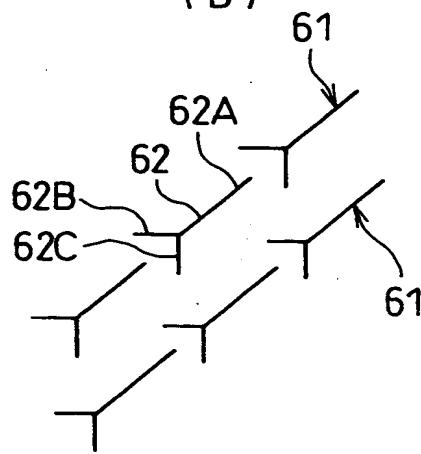


【図2】

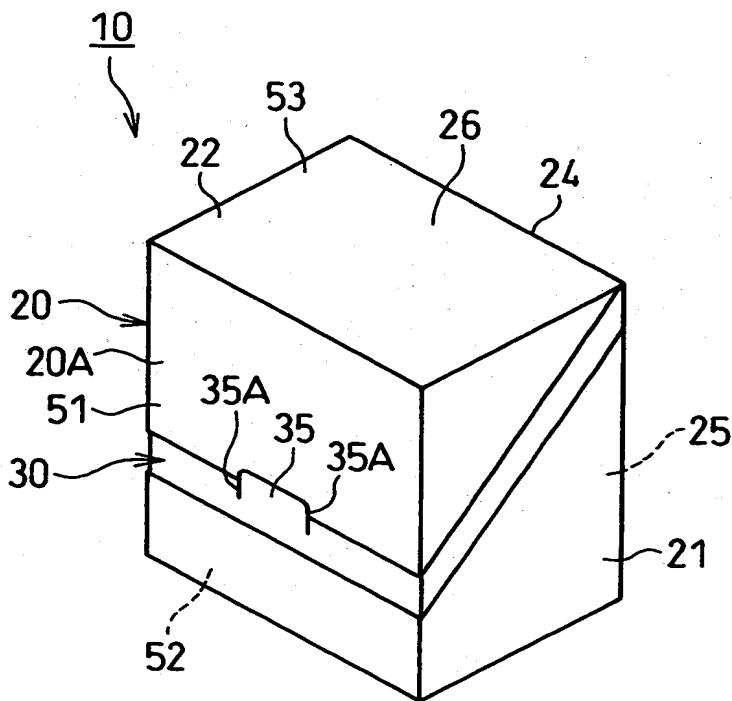
(A)



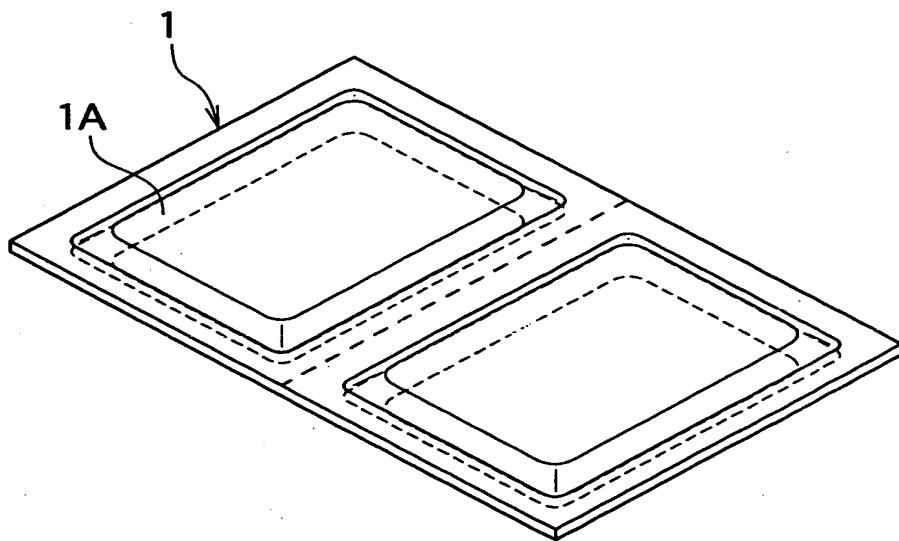
(B)



【図3】



【図4】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 容器の防湿性と水滴混入防止性を向上し、水溶性シートで個装されたシート状洗剤同士の貼り付きを防止すること。

【解決手段】 水溶性シート1Aで個装されたシート状洗剤1を積層して収容する容器10であって、外箱21の内面に沿うように挿入される印籠部30を有し、該印籠部30に閉じ状態の蓋22の内面が被さり、外箱21と印籠部30と蓋22を防湿性の材料で構成したもの。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000000918]

1. 変更年月日 1990年 8月24日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都中央区日本橋茅場町1丁目14番10号

氏 名 花王株式会社